

ほほえみ



<特集> 新春によせて 2015



東葛クリニックみらいで外来が始まりました 5

ノロウイルスによる食中毒 6

インフルエンザワクチン／病院機能評価の認定を更新しました 7

講演会・勉強会のご案内 8

海外から医療従事者を迎えて 9

～中学生の職場見学～ ようこそ！東葛クリニック病院へ 10

秋の文化祭～百花繚乱～ 開催 11

季節のレシピ 12

東葛の小路（番外編） 写真コンテスト受賞作品 13

透析知っ得NEWS 患者さんへのインタビュー 14

新春によせて二〇一五年



医療法人財団松圓会

理事長 小田 清一



新年あけましておめでとうございませす。東葛クリニックグループは、今年で創立42年目のお正月を迎えました。昨年は松戸駅に隣接して「みらい」をオープンし、グループの仲間が一つ増えました。個室透析は6月から、外来は11月から開始しましたが、患者さんの

評判は上々のようです。私も禁煙外来を行っておりますので、タバコをやめた方はぜひ一度おいでください。

昨年末の写真展には多数の皆さんに応募していただき、ありがとうございます。患者さん、職員の区別をせずに選考しましたが、入賞されたのは患者さん1名、職員4名でした。

東葛クリニック病院では7つのサテライトクリニックとの連携を一層密にして重症化の予防、快適な療養生活を送っていただくために、透析早期からの療養指導にも力を入れてまいりますと共に、本年度から我孫子をはじめとして、通院困難な患者さんの送迎を始めることとしておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

東葛クリニック病院

院長 東 仲宣



2015年は2000年から数え15年目になる節目の年であるが、国内では高齢化、少子化、人口の減少、それに伴う消費税の問題、景気回復の減速、格差社会と大きな問題をかかえている。それに加え、ここ数年顕著になった地震、火山の噴火、集中豪雨や突風被害が後を絶たない。火山活動によって

形成された美しい自然や山々、湖、多くの温泉などの恩恵に浴している日本人にとって自然災害の脅威はともすると忘れがちになりやすいのは仕方がないのかも知れない。



昨年発表された向う100年の間に、日本列島のどこかで大きな火山爆発が起こる確率がおよそ1%だという報道は、かなりの確率だとみる一方、起こる確率が低いという見方もあるのだろう。しかし、1707年(宝永4年)には富士山が宝永の大噴火を起こし、多くの火山灰を噴出し、江戸市中にたくさん火山灰を降らせたという。そして長期間、空が暗くなり、畑の作物に多大に被害をもたらしたという記述がある。それ以降、明治、大正、昭和初期にかけて噴気活動や温度の上昇がみられるものの、1960年代以降は目立った動きはないが、まだまだ富士

山は現在も息づいている活火山だという認識を持つ必要がある。

今後、どんなに技術革新があっても自然の巨大なエネルギーをコントロールすることは不可能だろうと想像に難くない以上、自然に寄り添い、ささやかに生きていく謙虚さを持ち続け、土地の乱開発や自然破壊を人為的に行うことは是非とも避けてもらいたいというのが大方の国民の願いであろう。



さて東葛クリニック病院は創立40年を過ぎ、世代交代も進む中、病院の機能の再検討を迫られています。高齢化に伴う、老々介護、独居老人の増加、認知症を伴う疾病の増加など、これらの困難な問題に対して、高齢者の救急

患者の受け入れや、在宅訪問診療の検討、包括ケアや療養病床への転換も考慮しなければなりません。もちろん透析医療に代表される腎不全医療に対しても力をいれ、質の高い医療レベルを維持しつつ、患者さんのニーズに合った医療を展開していきたいと考えています。

医療技術を提供するだけでなく、世界に類をみない未曾有の高齢化社会をみんなで手を携えて生きていくために、心の通う医療をすべての職種が一丸となり成し遂げていく覚悟です。ぜひ皆様方も一緒になってこの難関を切り抜けていきましょう。

今年1年が皆様にとってご多幸な年であることを祈念して新年の挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いたします。



東葛クリニック病院

副院長 内野 敬



謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

旧年は大雨や台風、御嶽山の噴火など自然災害の多い年でした。

我々の住む自然環境には思いがけないことが起こりますが、自分自身の体にも自分で意識できないところで思いがけない病態が発生します。健康ブームの昨今ですが、視聴率稼ぎが目的でテレビ番組を通して様々な健康食品、病気の情報があふれる状況です。興味を引くために必要以上に病気の恐怖を誇張する向きもあります。健康に注意することはもちろん良いことですが、過剰な情報は混乱を招く恐れがあります。やはり病気に關しては経験豊富な医師の適切な診断・治療に勝るもの

はありません。

当院は40年以上透析医療を中心に研鑽をつんでまいりました。経験豊富な医師や看護師、医療スタッフも多数揃っております。これからも透析患者様に信頼され続けるよう努力してゆく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。



東葛クリニック病院

副院長 秋山 和宏



平均寿命と健康寿命(日常生活に制限のない期間)の差は、男性9.13年、女性12.68年です(平成22年)。この

約10年間に様々な問題が包含されますが、私は「人生ラスト10年問題」と名付け、その対応策を研究しています。これまでの医療は疾病対策が主軸でしたが、「人生ラスト10年」に焦点を当てることと違った切り口が見えてきます。この期間には、①歩けなくなるとき、②食べられなくなるとき、③認知できなくなるときの3つの節目があります。詳細は省きますが、サルコペニア(加齢に伴う筋肉減少症)がそれらの主因であることが分かってきました。筋肉が未病、闘病に重要な役割を果たしているのです。筋肉は各自が努力して増やさなければなりません。患者参加型のスタイルが必要です。

メデイカル・ウォーキング倶楽部はその一環で、患者参加型のチーム医療といえます。私の新年の抱負は、この患者参加型チーム医療の推進です。ご参加、ご協力を宜しくお願い致します。



松戸駅から3分!!

東葛クリニックみらいで 外来がはじまりました

2014年11月5日より、東葛クリニックみらいの2階で、外来診療を開始しました。現在は水曜日(午前)、木曜日(午前)、土曜日(午前・午後)のみの診療ですが、3月からは診療日を増やす予定です。

東葛クリニックみらいは松戸駅西口から徒歩3分です。お近くの方は、ぜひご利用ください。

「一般外来待合」
木目とグリーンを基調にした落ち着いた雰囲気の待合です。



「受付の様子」
受付は2階にあります。エレベーターで2階にお上がりください。



【外来担当医予定表】

曜日	診療科	担当医	午前	午後
水	内科	藤田 省吾	○	
木	内科・消化器内科	深沢 雄一	○	
土	心療内科※	木村 和正	○	○
	禁煙外来	小田 清一	○	



東葛クリニックみらい外観
(松戸駅西口より徒歩3分)

診療時間 午前 9:00~12:00(受付時間8:30~)
午後 13:30~17:00(受付時間13:00~)

※ 心療内科は完全予約制です。
※ お薬は院外処方となっております。

東葛クリニックみらい

千葉県松戸市本町21番地2
綜合都市第3ビル

電話 047(366)6150



周辺地図



冬は特にご注意！

“ノロウイルス”による食中毒

食中毒は夏だけではありません。ウイルスによる食中毒が冬に多発しています！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者などでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

<感染経路>

- ◆ 感染した人の調理などにより汚染された食品
- ◆ ウイルスに汚染され、加熱不十分な二枚貝など
- ◆ 患者のふん便や吐物からの二次感染
- ◆ 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染

<潜伏期間・症状>

- ◆ 感染から発症まで24～48時間
- ◆ 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く
- ◆ 感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。
- ◆ 乳幼児や高齢者は、吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

<診断>

通常の場合、症状や周囲の感染状況等から、総合的にノロウイルスを原因と推定して診療がなされます。

<治療>

ノロウイルスについてはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られます。

体力の弱い乳幼児・高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。

下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

いずれにしても、早めの病院受診をおすすめいたします。

<予防・対策>

- ◆ 食事前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- ◆ 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ◆ 特に、子どもや高齢者などの抵抗力の弱い方では、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。
また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。



【参考】厚生労働省ホームページ

(看護部・谷口弘美(感染管理認定看護師))

インフルエンザワクチンは接種されましたか



インフルエンザの流行する季節となりました。12月～3月が流行のピークです。インフルエンザウイルスに感染すると、人によっては重症化するおそれがあるため、早めの対策が必要で、その対策のひとつが予防接種です。

インフルエンザワクチンを接種してから効果があらわれるまでの時間と持続時間には個人差があり、一般的に接種後2週間頃から、5ヶ月程度効果が持続すると言われています。

インフルエンザワクチンは、ウイルス感染後に発病する可能性を低くするとともに、発病した場合は重症化を防止します。ワクチン接種以外にも感染症の予防には、「マスクの装着」「外出後のがいや手洗い」「人が大勢集まるところへの外出を控える」などが有効です。

インフルエンザワクチンの接種を希望される方は、電話でご予約ください。

「予約受付フリーダイヤル」

Tel 0120(113)751

年が明け、一段と寒くなりました。体調管理には十分お気をつけ下さい。

病院機能評価の認定を更新しました



東葛クリニック病院は、2014年9月に病院機能評価を受審し、認定が更新されました。

病院機能評価は、第三者評価機関である日本医療機能評価機構が、「病院が適切な医療を提供しているか」を評価するものです。患者さんが受診されるから退院されるまでの間、安心・安全の面で適切な医療が行われているか、医療の質が保たれているかなどが評価されます。

現在、全国にある病院のうち、約25%が病院機能評価の認定を受けています。当院も認定病院の一つで、今回の受審は認定更新のための受審です。

今回、多くの項目でよい評価をいただき、「患者さんと診療情報を共有し、医療への患者さんの参加を促進している」「多職種が協働して患者さんの診察・ケアを行っている」という項目では、特に高い評価を受けました。また、各評価項目については、それぞれに対するコメントをいただいています。

今回いただいた評価コメントを参考に、患者さんにより良い医療が提供できるよう、職員一同一層努力してまいります。



医療のスペシャリストである評価調査者が、実際に現場を訪問して確認・評価します。





講演会・勉強会のご案内



当院では、地域の方々と一緒に健康増進や病気の予防に取り組む勉強会を開催しています。身近でお役に立つテーマを取り上げていますので、ぜひ、ご参加ください。

参加費は無料です。

<さわやか健康広場のご案内>

日にち	時間	テーマ(講師)
1月10日	13:30-14:00	慢性腎臓病の治療法とその選択 (院長・東)
	14:10-14:40	慢性腎臓病患者さんが利用できる医療福祉制度について (医療ソーシャルワーカー・西)
2月21日	13:30-14:00	介護保険制度のしくみと利用手順について(連携支援員・梅林)
	14:10-14:40	住宅改修を行う時のポイント、車椅子や介護用品を体験しよう (ケアマネジャー・川口)
2月28日	13:30-14:30	[慢性腎臓病食教室] エネルギー不足は天敵！あなたに必要なカロリーは？(管理栄養士・小川)
3月14日	13:30-14:30	ASO(下肢閉塞性動脈硬化症)ってどんな病気？ (血管外科医師・佐々木)
	14:10-14:40	足を守る爪の切り方やケアのポイント (創傷ケアセンター・看護師・尾崎)

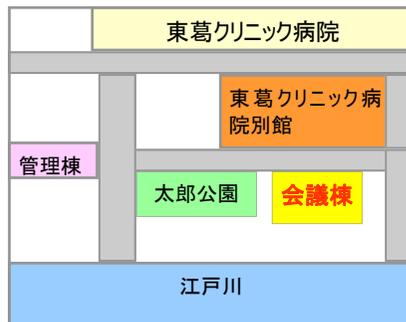
[会場] 東葛クリニック病院 会議棟 (受付 13:00~)

※参加を希望される方は、お手数ですが前日までにご連絡ください

<申込み連絡先> 医療福祉連携支援部 Tel 047-364-5121(代表)



会議棟の外観



2014年11月、東葛クリニック病院別館の向かい(江戸川土手方面)に、「会議棟」を建設いたしました。
さわやか健康広場等の勉強会や患者会は会議棟での開催となります。

お知らせ

海外から医療従事者を迎えて

2014年11月3日から7日にかけて、フィリピンの看護師3名が日本における透析医療について学ぶため来院し、当院で研修を行いました。



臨床工学技士に質問中。フィリピンでは看護師が中心に治療を行います。



透析で使用する針についての講義。日本はフィリピンより、針の種類が多いそうです。



フィリピンではあまり行われないう、狭くなった血管を広げる手術を見学していただきました。



当院看護師と、看護師としての考え方などについて意見交換を行いました。



フットケアの実習。実際にお互いの足を利用し、フットケアの方法を体験しました。



研修の合間を縫って、当院の看護部長・山賀と記念撮影。

今回の研修は、経済産業省の平成26年度医療機器・サービス国際化推進事業(海外展開の事業性評価に向けた実証調査事業)に採択された「サウジアラビア透析センター設立プロジェクト」の活動の一つです。

<当院の理念>

其接也以恕 (その接するや恕をもってし)

其治也以協 (その治するや協をもってす)

私たちは、相手の立場に立った思いやりの心である恕の精神で人に接し、専門性を超えたコミュニケーションを尊重する協の精神でチーム医療を推進し、これがもたらす最適医療の成果を患者さんに提供することを誓います。



～中学生の職場見学～



ようこそ！東葛クリニック病院へ

東葛クリニック病院では、近隣の小学校や中学校の依頼により職場見学を受け入れています。2014年11月には柏市立柏中学校から4名、松戸市立河原塚中学校から2名の生徒の皆さんが来院しました。院内の見学とともにいろいろな体験をしていただきましたので、その様子をご紹介します。



手洗いチェッカーで手洗い確認。意外に洗い残しがあり、びっくり。



CT装置を間近で体感しました。



職員だけでなく、患者さんともコミュニケーション。



ストレッチャーの使い方を学びました。



AEDを体験。心臓マッサージにも挑戦しました。



車イスでの移動の大変さを実感しました。

(医療福祉連携支援部
梅林 剛)

医療スタッフ、介護スタッフがそれぞれの専門性を活かして患者さんを支え、よりよい医療環境、介護環境を提供していくよう、今後も合同勉強会を開催していきたいと思えます。

ケアマネジャー並びに介護保険事業者の皆さまにご参加いただき、「腎臓の仕組みと血液透析の基礎」(講師・透析看護認定看護師・喜瀬はるみ)と題した講演を行いました。

2014年10月16日に第1回介護・医療合同透析勉強会を東葛クリニックみらいで開催しました。

**介護・医療
合同透析勉強会を
開催致しました**



秋の文化祭 ～百花繚乱～ 開催

2014年10月26日に東葛クリニックみらい6階のホールでイベント「秋の文化祭」を開催しました。「秋の文化祭」は東葛クリニックグループでの初めての試みで、患者さん・地域の皆さんに当院をより身近に感じていただけることを願って企画したイベントです。作品展示・発表では、患者さんや地域の方々など多くの皆さんにご参加・ご協力いただきました。また、当院のスタッフも演者として参加し、皆さんと一緒に楽しみました。今回は、その中の一部をご紹介します。



展示部門



バルーンアート
(池田薫さん作)



絵画
(樋口正紀さん作)



中部小学校児童
作成の絵本

患者さんや地域の皆さんから作品をご提供いただきました。

受付などもバルーンアートで飾り付け、とても華やかな雰囲気になりました。



発表部門



プログラム

チーム名	演目
日下部先生 with レアレア	電子ピアノと ウクレレ演奏
D-factory	ヒップホップダンス
フラサークル マヌレレ	フラダンス
中部小学校 吹奏楽部	吹奏楽演奏
しんぶうりゆうきょうふうかい 詩吟神風流匡風会 師範 西村之風	詩吟
専修大学 マジックサークル	マジック
Misspri with T-内野バンド	バンド演奏



D-factory



中部小学校吹奏楽部



専修大学
マジックサークル



Misspri With
T-内野バンド

バンド演奏からダンス、詩吟まで幅広い演目が集まりました。

当日は大変多くの方にご来場いただきました。ご参加ありがとうございました。



第1回松圓会写真コンテスト 受賞作発表！

東葛の小路(番外編)

東葛クリニックグループ(医療法人財団松圓会)の各施設で透析治療をされている患者さんと職員の親睦を目的として、第1回松圓会写真コンテストを開催しました。

第1回のテーマは「癒し」。当法人理事長を含む職員13名と患者さん代表として腎友会(透析患者会)・会長の坂上教夫さんが審査をいたしました。

今回は理事長賞を受賞した作品をご紹介します。自然部門では、東葛クリニックで透析治療を受けられている高槻清志様、人物部門では東葛クリニック病院・医事部の外山千尋さんの作品が理事長賞に選ばれました。

なお、応募作品のうち、理事長賞をはじめとした優秀な作品は、病院、グループ内の各施設に展示する予定です。

理事長賞(自然部門)

「愛犬ハルちゃん」

高槻清志様



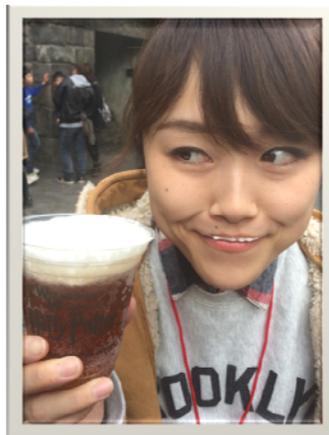
作品コメント「いない、いない、バー」

理事長賞(人物部門)

「バタービール」

でニンマリ♥️」

外山千尋さん



作品コメント「職員旅行でバタービールを飲んだ後輩の、ニンマリ顔を激写しました」



『病院の情熱に助けられた！』



今回は、東葛クリニックグループで長年透析治療を受けていらっしゃる方にお話をお聞きました。



東葛クリニック新松戸
こちや いっろう
東風谷 逸郎 さん (69歳)
透析歴 36年

Q. 血液透析を始めることになったきっかけを教えてください。

A. 最初は高血圧で眼底出血になり、眼科を受診したところ腎臓が原因と言われ、大学病院を紹介されました。腎臓が7%しか機能しておらず、すぐに入院となりました。血液透析を受けることとなり、医師から「これは治らないよ！一生！」と言われたことがすごくショックでした。私は建設会社の自社研究棟建築で責任者をやっていましたので仕事においても大変でした。

Q. 血液透析を36年間行ってきた一番大変だったことがありますたら教えてください。

A. 一番辛かったことは、透析を始めた直後に様々な病気を発症したこととです。最初は首のリンパ節がウズラの卵大に腫れました。2カ月間大学病院に精査入院をしましたが、結局原因は分かりませんでした。その後、東葛クリニック(現・東葛クリニック病院)を受診すると「ちよつと取ってみよう」と言われ、リンパ節を調べてみると結核菌が出ました。『大学病院では最高の医療ができて

も2ヶ月間原因が分からなかったけど、この東葛クリニックではすぐに分かった。もしかしてこっちの病院のほうが凄いな』と感じました。それから抗菌剤を半年ぐらい飲みましたが、その直後に臓器の複合感染に罹り、入院しました。また、その当時は、私を含め貧血の患者が多く、輸血することで貧血を改善していました。輸血を繰り返すうちに、今度はC型肝炎を発症し、劇症肝炎に罹ってしまいました。

『もうダメか。1年もつのかな?』と思っていました。治療の甲斐あって快方に向かっています。しかし会社に通勤できるようになった頃から、尋常でない咳が始め、ギックリ腰と肋骨の骨折を発症してしまい、ホームのベンチで休まないと会社に辿りつけませんでした。



あの頃の東葛クリニックには凄情熱があつて、毎回の透析で各種検査を行って原因究明をしようとしてい

透析・知っ得(しっとく)NEWSでは、透析患者さんへの情報を発信していきます

ました。咳の発症から半年程たった頃、高圧蒸気滅菌のダイアライザの使用が始まると咳が止まりました。咳の原因は、エチレンオキシサイドガス(EOG)で滅菌したダイアライザでEOGアレルギーだと判明したのでした。

Q. これまで長く透析を続けられた秘訣を教えてください。

A. 秘訣とは思っていませんが、透析を始めた大学病院ではとにかく『栄養管理と自己管理』と言われ、食品成分表を買われました。管理栄養士さんから『1食270gで1週間分の献立を自分で作ってください』と言われ、とても厳しかったです。

ところが東葛クリニックに来たら弁当だけで400gもあつてびっくりしました。『あ！俺、田舎の酷い病院に来ちゃったな!?!』と思っただけ、結果的には違っていました。当時多かった貧血の患者は、270gでは栄

養不足になってしまふことが分かりました。貧血改善や体力を付けるための栄養も必要だったので。現在は、貧血の薬や鉄剤などがあるので管理された栄養でも良いと思います。私は透析を始めてから体重も心胸比もあまり変動していません。やはり『栄養管理と自己管理』が大切だと思っています。



Q. 腎友会の会長をされていましたがご苦労はありましたか？

A. 腎友会に係わったのは透析を始めてから10年目、会長に就任したのは20年目でした。東葛クリニック腎友会は8か所の施設の患者で一つの病院患者会を作る稀有な形態をとっているため、各施設の会員に一体感を持つてもらうための情報共有や、イベントへの会員の参加を心がけてきたつもりです。

幸い素晴らしい役員や幹事、積極的な会員に恵まれ、イベントには多

くの会員に参加していただき、職責はある程度果たせたのかな？と思っています。

現在は、腎友会の役員を離れていますが、医療環境が厳しくなる中現在の透析医療を守る活動をしている腎友会の役員の方々へのご協力をお願いしたいと思います。

(インタビュー)

東葛クリニック 新松戸

臨床工学部・池田太寛(幸)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今回の表紙には平成26年度、新卒で入職したフレッシュなスタッフ9名に登場してもらいました。新たな年にふさわしい、さわやかな雰囲気皆さまに伝わりましたら幸いです。

新年を迎え、気持ちも新たに広報誌の編集に取り組んでまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

(広報委員会 総務部・本橋和子)

東葛クリニック病院 外来診療のご案内

外来診療予約電話 TEL 0120-113-751 (受付時間 8:30~17:00)

※ 当院は予約制となっております。診察券をお持ちの方はお手元にご用意の上、お電話下さい。

※ 日曜・祝日は休診です。諸事情により外来予定が変更になる場合があります。

〔受付時間〕 午前 8:30~12:00 午後 13:00~16:30

〔診療時間〕 午前 9:00~ 午後 14:00~ (2014年12月1日現在)

		月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	○	○	○		○	○	
外科	午前	○	○	○	○	○	○	土曜日 第1、第2、第3のみ
腎臓内科	午前	○	○		○		○	
	午後						○	午後診(土曜日) 第2、第3、第4のみ
循環器内科	午前				○			
	午後		○					木曜日 診療時間9:30~
心療内科※	午前						○	※ 2014年12月より、 東葛クリニックみらい で診療を行っています。
	午後						○	
整形外科	午前						○	午前診(土曜日)第2、第4のみ
	午後						○	午後診(土曜日) 14:30~
泌尿器科	午前						○	
	午後	○						土曜日 第1、第3、第5のみ
消化器外科	午前	○			○	○		
呼吸器外科	午後						○	診療時間 14:30~16:00
呼吸器内科	午前					○		
血管外科(循環器外科)	午後			○	○			
血管外科(大動脈瘤外来)	午後					○		金曜日 第3のみ

専門外来のご案内

		月	火	水	木	金	土	備考
糖尿病外来	午前	○	○	○				
	午後			○				
アクセス外来	午前	○	○	○	○	○	○	午前診のみ 土曜日は第1、第2、第3のみ
腎炎外来	午後		○					午後診のみ
乳腺外来	午前		○					午前診のみ
ペインクリニック	午後			○				午後診のみ
ストーマ外来	午後				○			午後診・木曜日 第2、第4のみ
腎不全外来	午前		○			○		金曜日 診療時間9:30~11:30
創傷ケア	午後					○		午後診のみ 診療時間 13:30~
フットケア外来	午前						○	9:00~11:00 14:00~16:00 第2、第4のみ
	午後						○	
褥瘡外来	午後			○				午後診のみ 診療時間 15:30~16:30
内視鏡(上部)	午前	○	○	○		○	○	土曜日 第3のみ
内視鏡(下部)	午後		○	○		○	○	土曜日 第1、第3のみ

日本医療機能評価機構認定病院



医療法人財団松圓会 東葛クリニックグループ

〒271-0067 松戸市樋野口865-2 電話 047-364-5121

ホームページ www.tokatsu-clinic.jp

発行 企画・編集
東葛クリニックグループ
広報委員会